

日本共産党大田区議会議員

## あらお大介活動ニュース



発行：あらお大介事務所 〒146-0093 大田区矢口1-23-27

携帯 090-7328-9567 FAX 03-3757-9883

## 区民不在の大規模開発をやめ 暮らし・福祉が豊かな区政を!



大田区議会第3回定例会が9月11日から10月9日まで開かれ、決算特別委員会において2014年度大田区一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の審査が行われ、賛成者多数の結果決算が認定されました（共産党区議団は反対しました）。

私も決算特別委員会の場で初めての質疑を行い、下丸子駅の安全対策と情緒障害等通級指導学級、いわゆる通級学級の存続

と、それに代わって来年度から本格導入される特別支援教室の充実について区の姿勢を問いただしました。

2014年度一般会計決算は歳入総額2525億円余、歳出総額2407億円余で差引額は118億円余となり、予算計上しながら使い残した不用額は94億円余にのぼりました。区の積立金現在高は1101億円余で前年度比で86億円余増え、区の借金である区債は407億円で前年度比44億円

減りました。

福祉費の使い残しは最大の33億円にのぼり、低所得高齢者への臨時福祉給付金は執行率54.9%で9億円使い残すなど福祉を軽視している区の実態が明らかになりました。

一方で2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての大規模開発では、京急蒲田駅西口開発に34億円余、糀谷駅前再開発に20億円余を使い、実現の見通しが無い新空港線（蒲蒲線）計画に5億円積立えています。さらに羽田空港跡地開発には171億円も積立、内閣総理大臣の認可でトップダウンの手法の特例を活用した「新産業創造・発信拠点～HANEDAゲートウェイ～」計画を区民不在のまま都市計画審議会にもかけずに推進しようとしています。

予算を組みながらお金を使い残すなど、区民のために仕事をしなかったといっても過言ではありません。オリンピック・パラリンピックに託けた大規模開発優先の区政から、暮らし・福祉優先の区政への転換を図るために引き続き頑張ります。

Facebook、Twitterもご覧ください。メールでのご相談お気軽に。

ホームページ・ブログ：<http://araodaisuke1226.jcp-ota.jp/>

メールアドレス：[daisuke-arao@jcp-ota.jp](mailto:daisuke-arao@jcp-ota.jp)

Twitter：[@araodaisuke](https://twitter.com/araodaisuke)

Facebook：<https://www.facebook.com/araodaisuke>

**法律相談もお気軽に**

11月18日(水) 午後2時～

あらお大介事務所

(事前予約が必要です。電話かFAXでお申し込みください)

# かけがえのない情緒障害 通級指導学級を残して！

東京都教育委員会（都教委）が来年度から導入しようとしている発達障害児のための「特別支援教室」について、大田区は来年度から区内の公立小学校すべてに導入しようとしています（今年度からモデル校として区内9校で実施中）。

この「特別支援教室」は従来の情緒障害通級指導学級に代わって導入されるもので、情緒障害を抱える児童が通級学級設置校に通うものを、現在通っている学校に指導教員が巡回して指導を行うという形に変えるものです。

この「特別支援教室」の問題点は、教員数が現行の通級学級の教員配置よりも3割減るといことです。都教委の説明では「教員は減らない」となっていますが、教室に通う児童数は今後大幅に増える見通しで、一人ひとりの児童に対する教育時間と内容が保証されなくなってしまう。

教員数が減ることで少人数でコミュニケーション等を学ぶ小集団指導（通級学級ではこれが

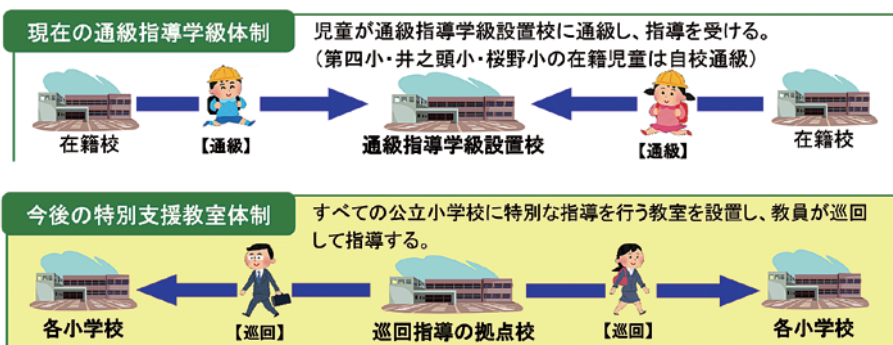
重要視されています）ができなくなり、個別指導が中心になることも懸念されます。巡回指導員も非常勤職員となることで教育の質にも影響が出ることは必ずです。

情緒障害を抱える児童は周囲の環境に慣れるのが苦手であるため、環境の変化によって不安定になり、その結果不登校になるのではないかと心配する保護者の方の声も聞かれます。

東京都の通級学級には50年の歴史があり、全国に先駆けて培った実績と成果があります。子どもたちが安心して学べる環境である、かけがえのない通級学級はなくすことなく、継続させることを今後も求め続けます。



## 通級指導学級と特別支援教室のイメージ



(都教委・武蔵野市ホームページより)



今年1月に現地調査した時(上)と現在の道路の状態。きれいに整備されました(下)。



## 住民の要求で道路の 早期改修が実現！

矢口3丁目の多摩川小学校付近の旧提通りの道路改修が近隣住民の方の要望で早期に実現することができました。

近隣の方が繰り返し要望をしてきたもので、今年の夏に工事が終了しました。

振動が少なくなり、砂利の飛散もなくなったとのことで、本当に良かったです。



## 今後の予定

11月26日(木)・27日(金)  
第4回定例会本会議

11月30日(月)  
常任委員会